

モモせん孔細菌病の春季防除を徹底しましょう!!

- 本病は細菌(バクテリア)の寄生により発病し、モモの収量・品質が大きく低下します。
- 【薬剤散布による防除】に加えて、【春型枝病斑のせん除による耕種的防除】の徹底が重要です。

【春型枝病斑のせん除による耕種的防除】

昨年はモモせん孔細菌病が多発生したことから、今年は、春型枝病斑の発生が多くなることが予想されます。防除を的確に実施するため、第一次伝染源となる春型枝病斑の発生をこまめに確認し、見つけ次第せん除しましょう。

【薬剤散布による防除】

春型枝病斑からの感染を防ぐために、開花直前、落花直後の薬剤散布を徹底しましょう。防除は、地域ぐるみで取り組むことが重要です。

第一次伝染源(春型枝病斑 別名:スプリングキャンカー)



見分け方

- ★モモせん孔細菌病の春型枝病斑は開花期から落花期頃に、やや隆起した紫黒色の病斑を生じ、その後病斑が拡大すると、健全部との境に亀裂が入り、かいよう状となります。
- ★他の病害の枝病斑との違いは、ホモプシス腐敗病は病斑部に黒色小粒点が、灰星病は胞子の塊が生じるのに対し、せん孔細菌病の春型枝病斑にはそれらが生じません。



ホモプシス腐敗病

他の病害の枝病斑



灰星病

問い合わせ先 ▶ 最寄りの県農林事務所農業振興普及部、農業普及所またはJAへ御相談ください